

## 9. 逆 走 対 策



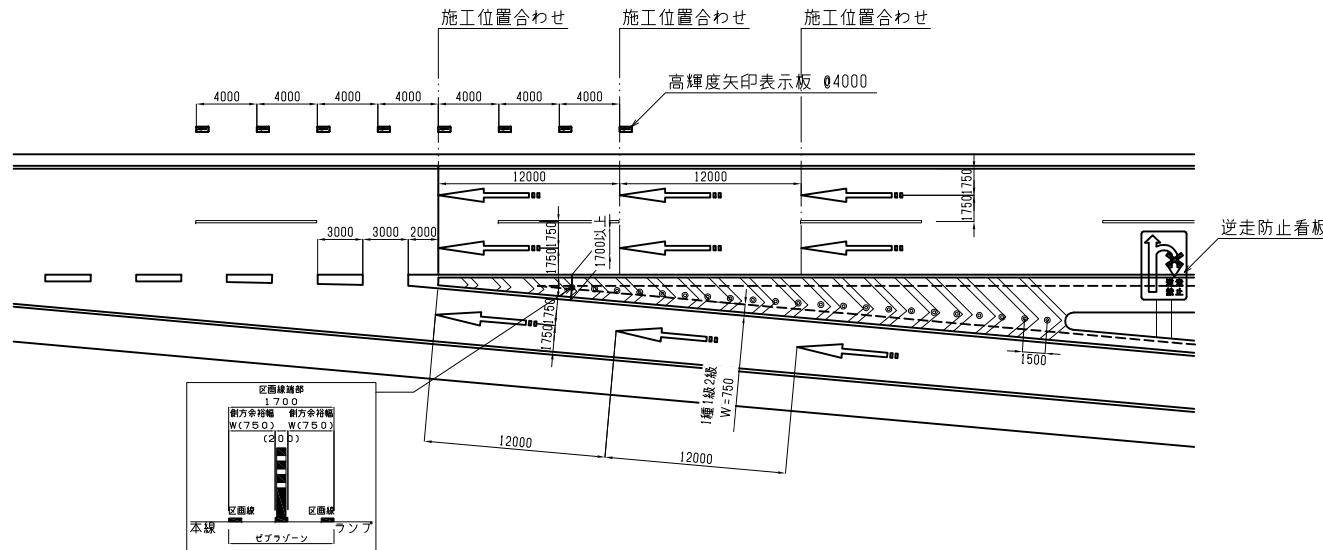
## 目 次



高規格道路 (自専道)	図面記号	本線第1種第1級。2級 逆走対策	R7
	名 称	IC・JCT本線合流部 路面標示。矢印表示板。ラバーポール	

## IC。JCT本線合流部配置図

\* 中央分離帯部の矢印表示板は、4mピッチを基本とするが、現地状況に応じ最大8mピッチまで適用可とする。



\* ランプ部の大型矢印路面標示は、原則、車線の中央部に設置するものとする。

なお、通行止め(ランプ閉鎖)を伴わない施工及び管理を実施するため、中央部より本線側に寄せて施工してもよいものとする。

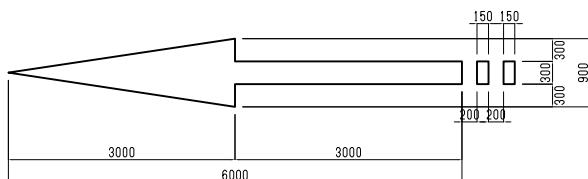
\* 2車線ランプの場合、大型矢印路面標示は、車線毎に設置するものとする。

\*暫定2車線区間においても、中央分離帯の高輝度矢印表示板を除き上記図面に準じて施工を行うものとする。

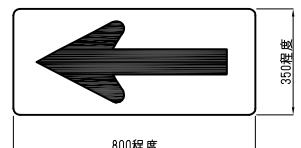
※ビデオ講義のユーバーポニーにおいて、一区画線端からフバニポニーまで中央島壁に設ける側面相当の側方金銭を確保する事。

※ラバーポール設置区間の側方余裕は、第1種1級。2級はW=750を確保

# 大型矢印路面標示詳細図

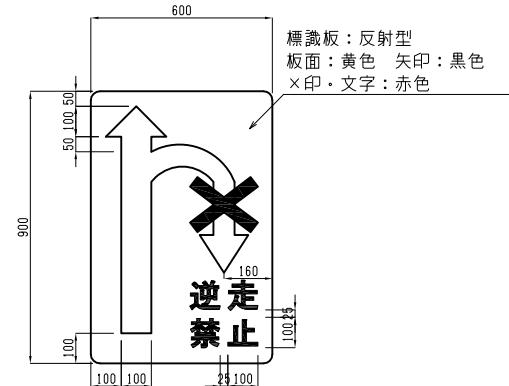


S=1:25



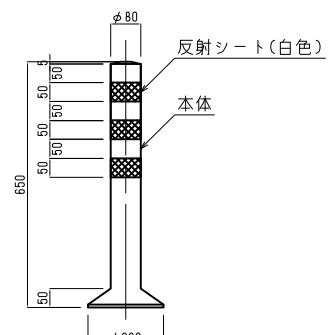
\* 防護柵貼付タイプ。高輝度反射型以上  
黄色 赤矢印

逆走防止看板詳細図 S=1:25



\*既設標識柱等への添架を基本とする。

ラバー ポール 詳細図 S:1:20



\* ラバーポールの高さは650mmを標準とする

\*除雪作業への影響を考慮し、着脱可能タイプとする

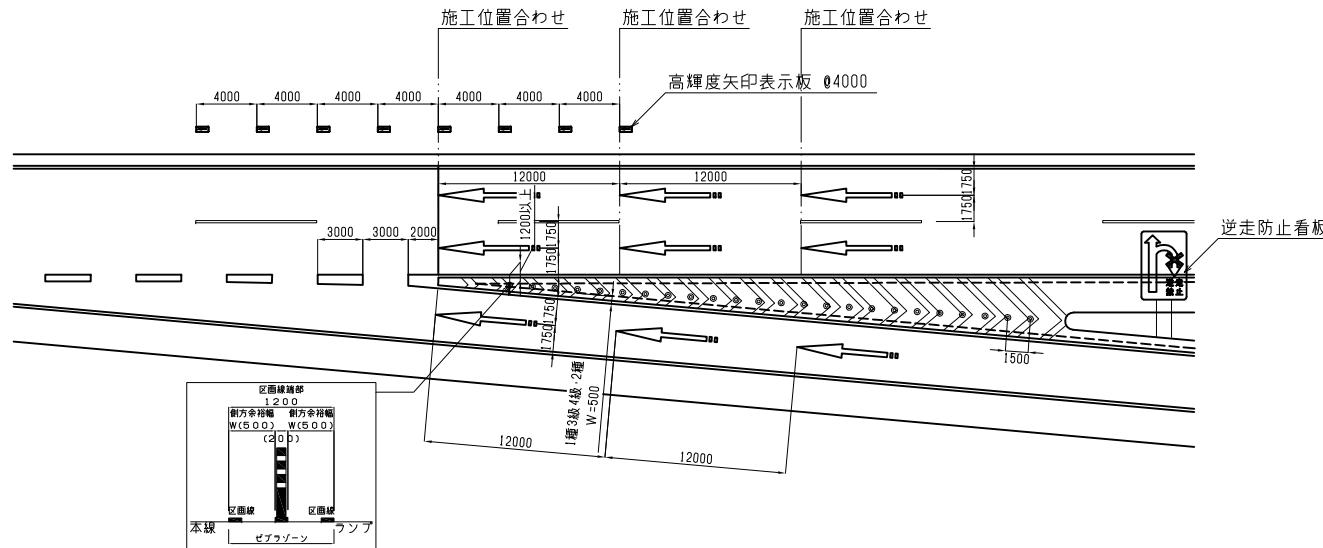
※木体色は緑を標準とする

高規格道路 (自専道)	図面記号 名 称	本線第1種第3級・4級及び第2種 逆走対策 IC・JCT本線合流部 路面標示・矢印表示板・ラバー ポール
----------------	-------------	--

単位: m

IC・JCT本線合流部配置図  
S=1:500

\*中央分離帯部の矢印表示板は、4mピッチを基本とするが、現地状況に応じ最大8mピッチまで適用可とする。



\*ランプ部の大型矢印路面標示は、原則、車線の中央部に設置するものとする。

なお、通行止め(ランプ閉鎖)を伴わない施工及び管理を実施するため、中央部より本線側に寄せて施工してもよいものとする。

\*2車線ランプの場合、大型矢印路面標示は、車線毎に設置するものとする。

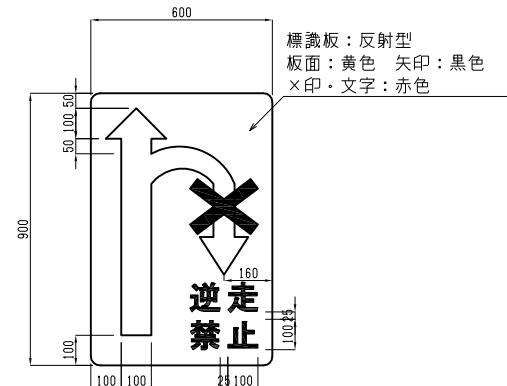
\*暫定2車線区間においても、中央分離帯の高輝度矢印表示板を除き上記図面に準じて施工を行うものとする。

\*ビブラゾーンのラバー ポールにおいて、区画線端からラバー ポールまで中央帯に設ける側帯相当の側方余裕を確保する事。

\*ラバー ポール設置区間の側方余裕は、第1種3級・4級及び第2種道路はW=500を確保する。

逆走防止看板詳細図

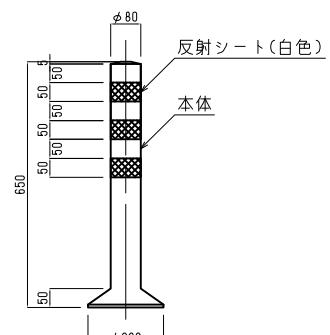
S=1:25



\*既設標識柱等への添架を基本とする。

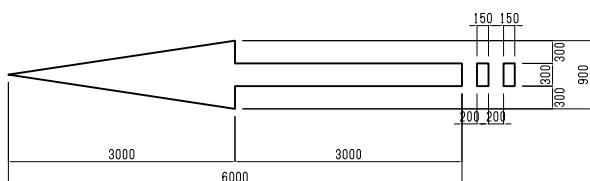
ラバー ポール詳細図

S=1:20



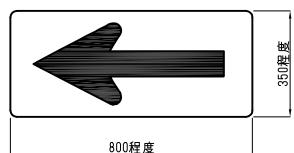
大型矢印路面標示詳細図

S=1:100



高輝度矢印表示板詳細図

S=1:25



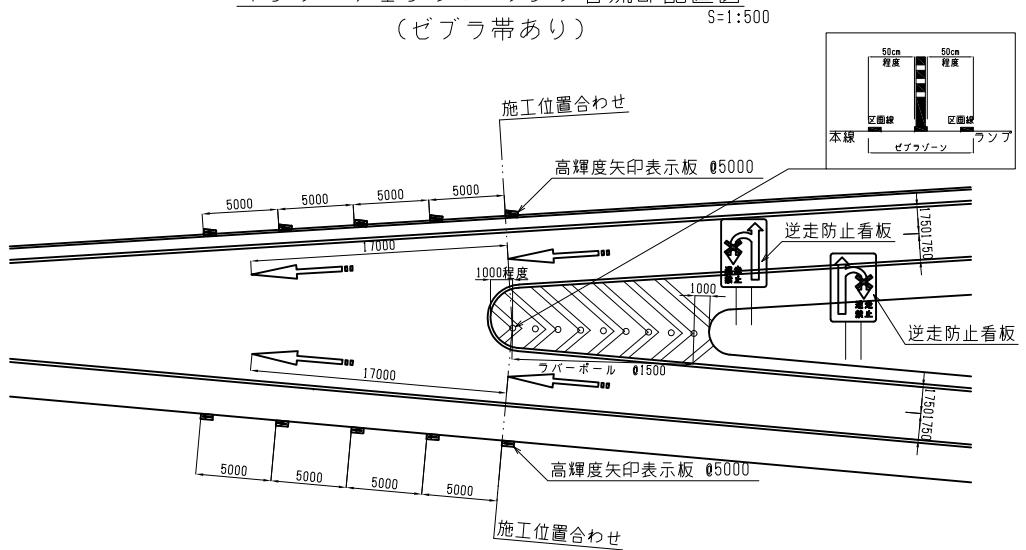
\*防護柵貼付タイプ。高輝度反射型以上  
黄色 赤矢印

\*ラバー ポールの高さは650mmを標準とする

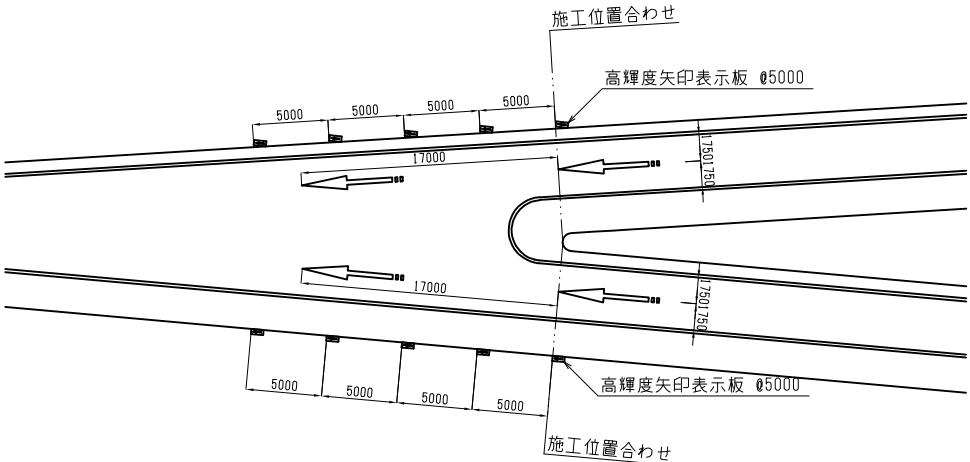
\*除雪作業への影響を考慮し、着脱可能タイプとする

\*本体色は緑を標準とする

インターチェンジOFFランプ合流部配置図  
(ゼブラ帯あり)



(ゼブラ帯なし)



- \* ランプ部の大型矢印路面標示は、原則、車線の中央部に設置するものとする。
- なお、通行止め(ランプ閉鎖)を伴わない施工及び管理を実施するため、中央部より本線側に寄せて施工してもよいものとする。
- \* 2車線ランプの場合、大型矢印路面標示は、車線毎に設置するものとする。
- \* ゼブラ帯のラバーポールにおいて、区画線端からラバーポールまで50cm以上の間隔を開けること。

高規格道路  
(自専道)  
名 称

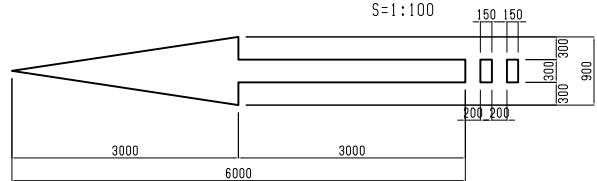
図面記号  
逆走対策  
名 称

インター・チェンジOFFランプ合流部  
路面標示・矢印表示板・ラバーポール

単位: m

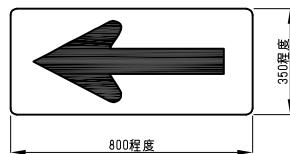
大型矢印路面標示詳細図

S=1:100



高輝度矢印表示板詳細図

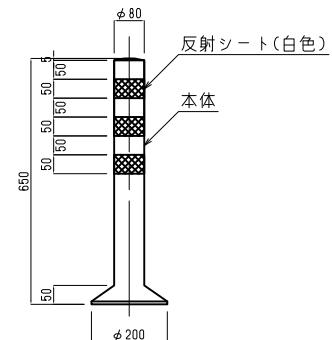
S=1:25



\* 防護柵貼付タイプ。高輝度反射型以上  
黄色 赤矢印

ラバーポール詳細図

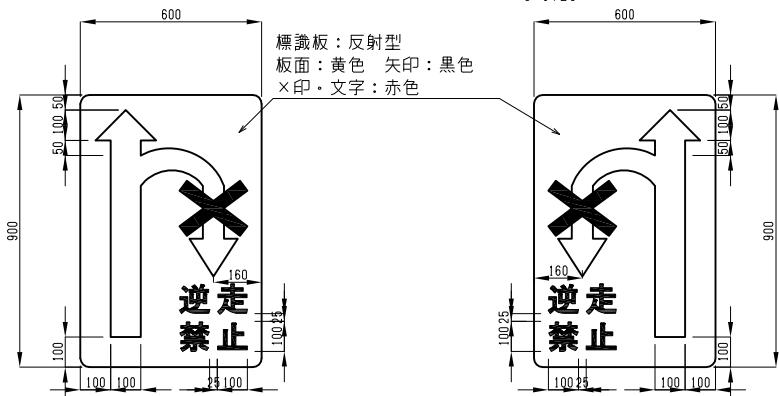
S=1:20



- \* ラバーポールの高さは650mmを標準とする
- \* 除雪作業への影響を考慮し、着脱可能タイプとする
- \* 本体色は緑を標準とする

逆走防止看板詳細図

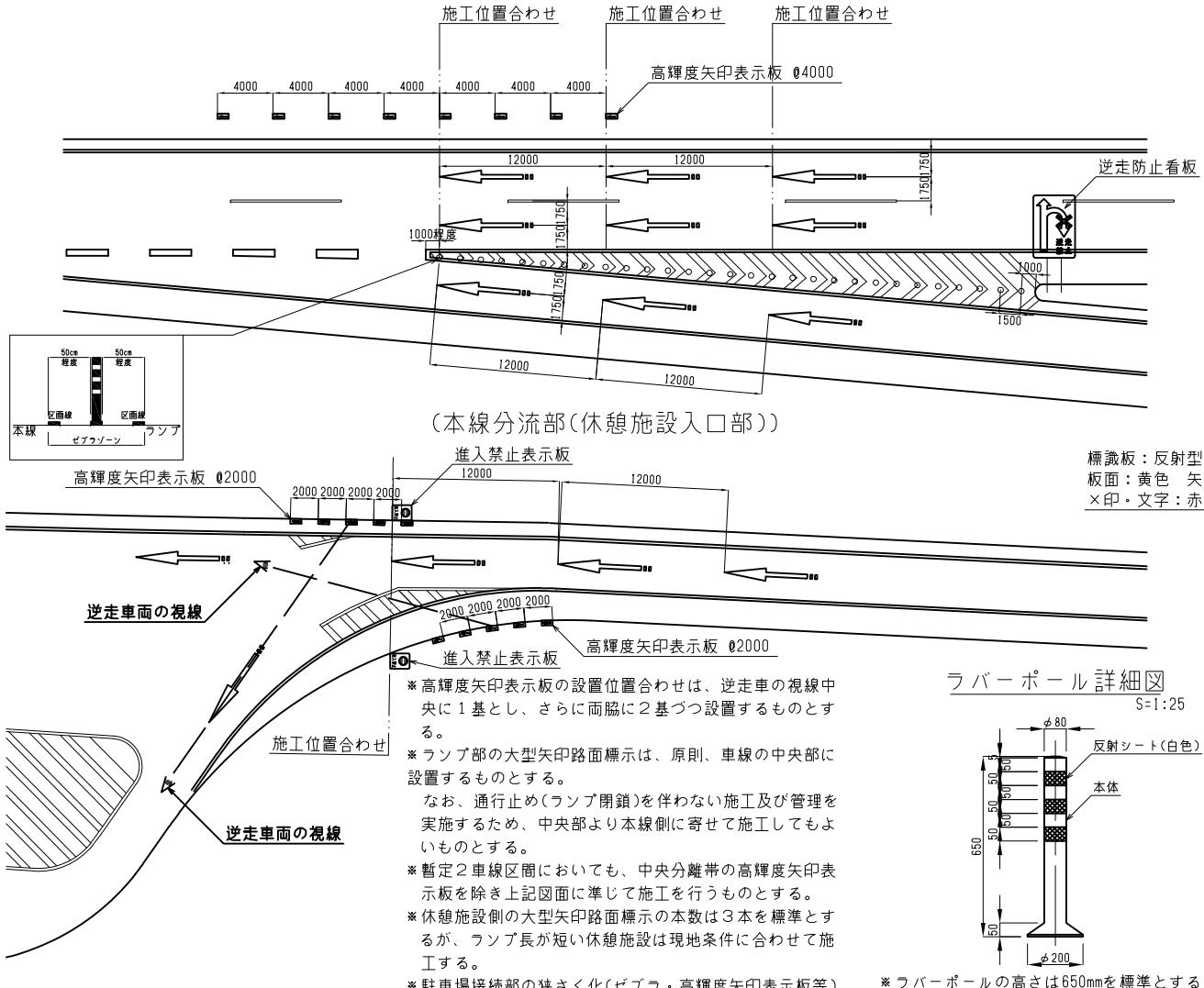
S=1:25



\* 既設標識柱等への添架を基本とする。

## 休憩施設本線 逆走対策工配置図 (本線合流部) S=1:500

- ※ 中央分離帯部の高輝度矢印表示板は、4mピッチを基本とするが、現地状況に応じ最大8mピッチまで適用可とする。
- ※ 暫定2車線区間においても、中央分離帯の高輝度矢印表示板を除き下記図面に準じて施工を行うものとする。
- ※ ゼブラ帯のラバーポールにおいて、区画線端からラバーポールまで50cm以上の間隔を開けること。

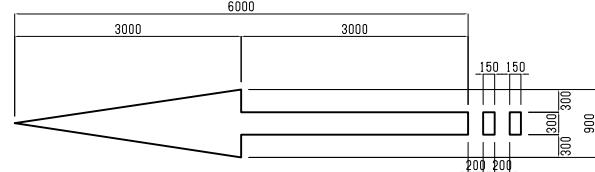


高規格道路 (自専道)	図面記号 名 称	逆走対策 休憩施設本線分合流部 路面標示. 矢印表示板. ラバーポール	R7
----------------	-------------	---	----

## 大型矢印路面標示詳細図

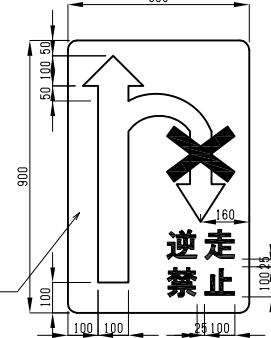
(ランプ合流部) S=1:100

单位：mm



進入禁止表示板詳細図

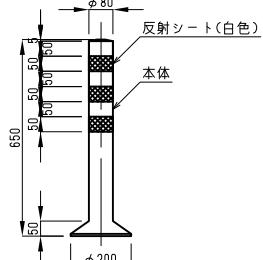
S-1 : 25



\*既設標識柱等への添架を基本とする。

## ラバー ポール 詳細図

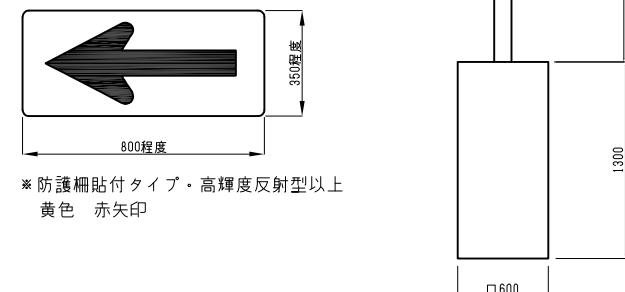
S=1:25



- ※ ラバーポールの高さは650mmを標準とする
- ※ 除雪作業への影響を考慮し、着脱可能タイプとする
- ※ 本体色は緑を標準とする

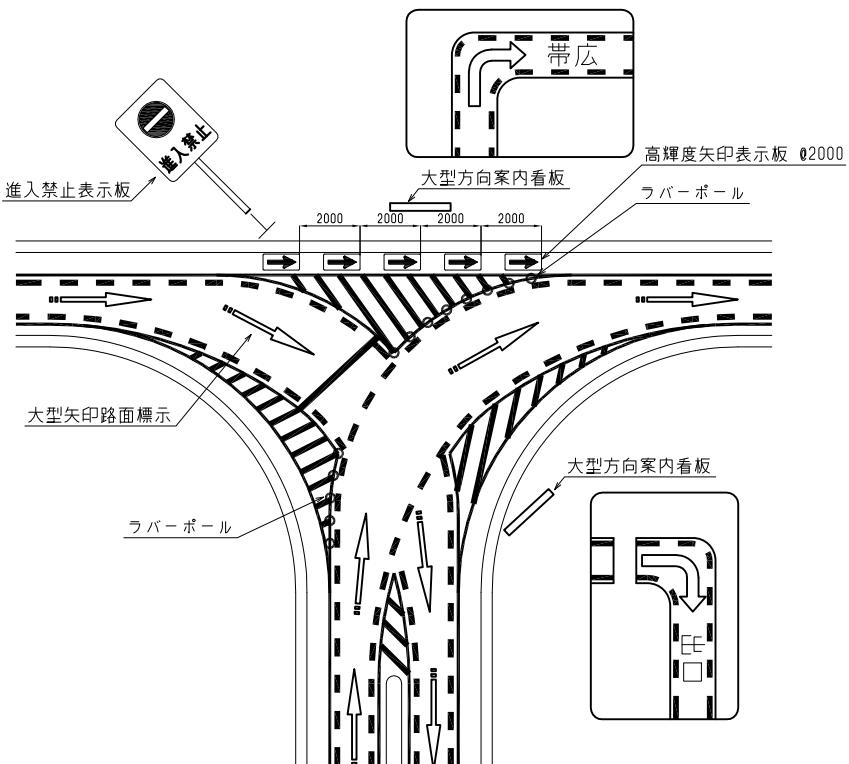
高輝度矢印表示板詳細図

S=1:25



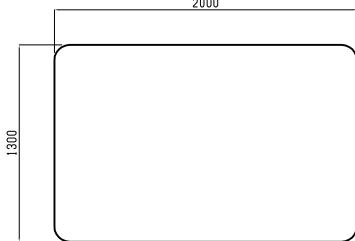
\* 高輝度反射型以上とする  
\* 部材規格、設計条件は「第3章 高規格幹線道路」欄-80を参照のこと

# 平面Y型 I C平面交差部 逆走対策工配置図



※ カラー舗装（ドットライン）はオンランプ側をオレンジ色、オフランプ側を青色とする。  
※ 大型方向案内看板は「カラー舗装（ドットライン）」と同色の表示をする。

## 大型方向案内看板

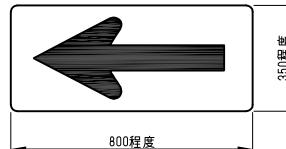


\*大型方向案内看板に係る図示の文字（地名）

又は記号は、例示とする

\*支柱・基礎形式は「第2章 一般国道」欄-32を参照のこと。

高輝度矢印板(黄色地・赤矢印)詳細図  
S=1:25



\* 防護柵貼付タイプ。高輝度反射型以上  
黄色 赤矢印

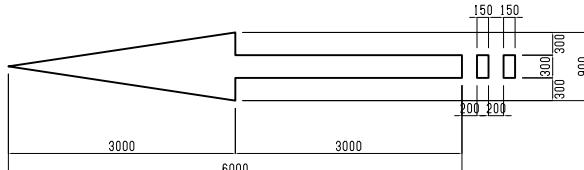
高規格道路  
(自專道)

図面記号  
名 称

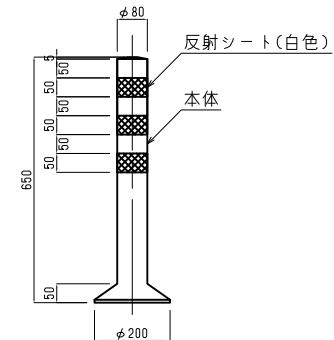
逆走対策  
平面Y型 I C 平面交差部  
路面標示。矢印表示板。ラバーポー

单位：mm

## 大型矢印路面標示詳細図

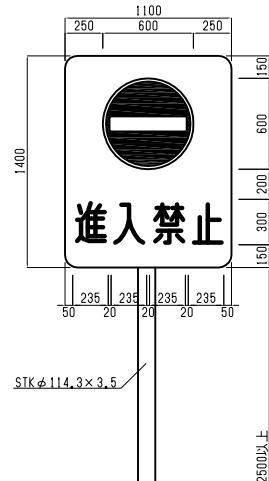


ラバー ポール 詳細図  
S=1:20

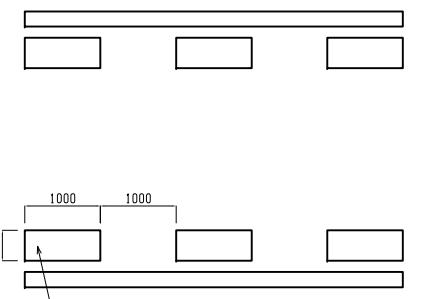


- ※ ラバーポールの高さは650mmを標準とする
- ※ 除雪作業への影響を考慮する場合、着脱可能タイプとする
- ※ 本体色は橙を標準とする

## 進入禁止表示板詳細図



## カラー舗装(ドットライン)詳細図

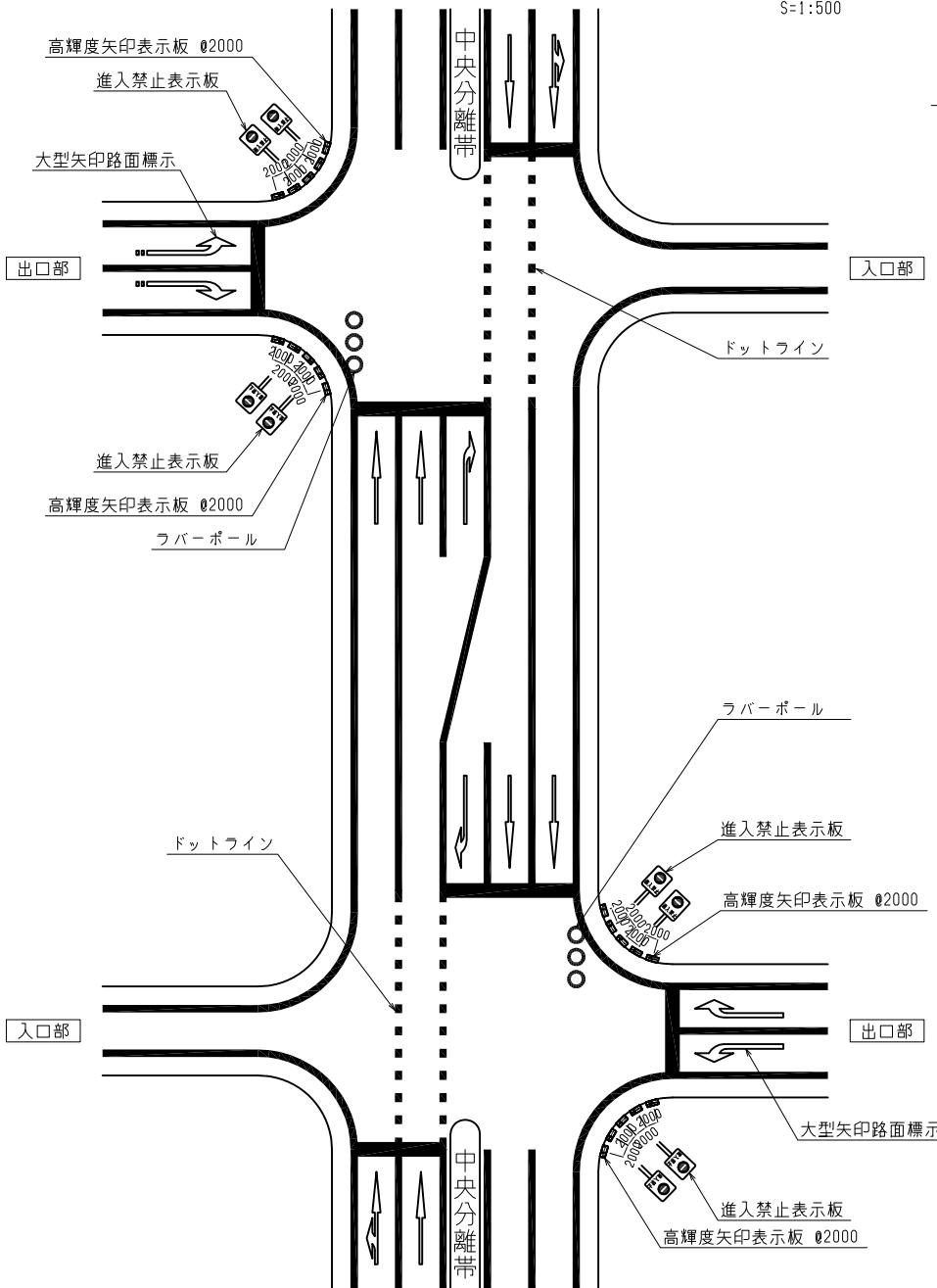


- ※平面交差部及びその前後50m施工する
- ※外側線から概ね100mm程度離して施工する  
(現地状況に応じて施工すること)
- ※コンラム側をオレンジ色、コアコンラム側を青色とする

\* 高輝度反射型以上とする  
\* 製材規格 設計条件は「第3章 高輝度反射型鏡面鏡」欄、8頁を参照のこと

## ダイヤモンド型 IC出入り口部 逆走対策工配置図

S=1:500



高規格道路  
(自専道)  
名 称

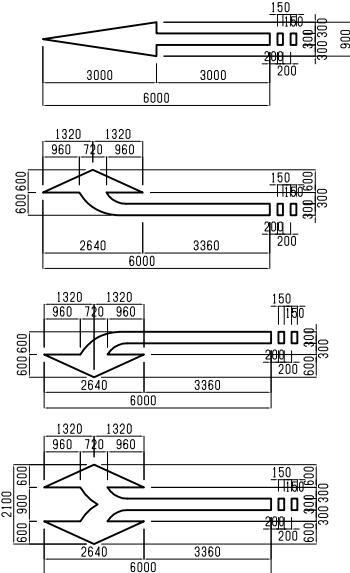
図面記号  
名 称

逆走対策  
ダイヤモンド型 IC出入り口部  
路面標示・矢印表示板・ラバーポール

単位: m m

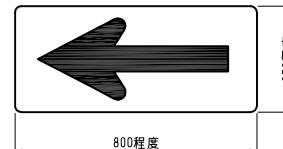
## 大型矢印路面標示詳細図

S=1:200



## 高輝度矢印表示板詳細図

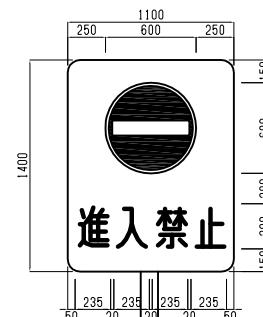
S=1:25



\* 防護柵貼付タイプ。高輝度反射型以上  
黄色 赤矢印

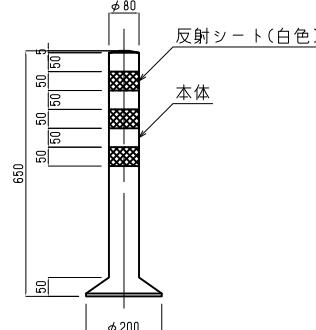
## 進入禁止表示板詳細図

S=1:50

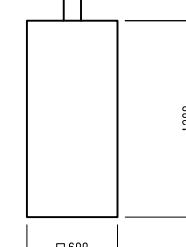


## ラバー ポール 詳細図

S=1:20



\* ラバー ポールの高さは650mmを標準とする  
\* 除雪作業への影響を考慮し、着脱可能タイプとする  
\* 本体色は橙を標準とする



## ドットライン 詳細図

S=1:25

\* 高輝度反射型以上とする  
\* 部材規格、設計条件は「第3章 高規格幹線道路」標-80を参照のこと